



高西小だより

H25, 6, 28(金) 校長:古屋 NO4

学校教育目標

夢を切り拓く

心豊かで

たくましい子ども

「小林一三」に学ぶ！ 「自分の持つ長所」に磨きをかける！

今、夏休みまであと1か月ほどとなり、様々な施設や機関からパンフレットがたくさん送られてきています。その中に、県立博物館から、中央線が甲府まで開通してこの6月で110周年となることから「鉄道展」の催し案内がありました。(7/20~9/2まで開催)

そのパンフレットには、「鉄道を作った山梨の先人たち」と題し、若尾逸平をはじめ、阪急電鉄の創業者である小林一三、東武鉄道を再建にした鉄道王と言われた根津嘉一郎、甲武鉄道など各地の鉄道を経営した兩宮敬次郎などが載っていました。

この中で、「小林一三」については、葦崎市出身ということで、駅前の葦崎市民交流センターのふるさと偉人資料館に展示してあり、以前に私も見学し学ぶ機会がありました。

「小林一三」(こばやしいちぞう)は、1873年、葦崎本町で生まれ、その後、阪急電鉄・阪急百貨店・阪急東宝グループ(現・阪急阪神東宝グループ)の創業者として知られる日本の実業家であり、第二次近衛内閣では、商工大臣を務め、宝塚歌劇団の創始者としても有名ですが、私が見学を通して大きな感動を覚えたところは、小林一三の未来を見据えた柔軟的な発想と実行力です。

彼は、次のように言っています。

「乗る人がいなくて赤字になるなら、乗る客を作りだせばよい。それには沿線に人の集まる場所を作ればいいのだ。」

彼は、この考えを基に、鉄道沿線の住宅地開発、百貨店経営など幅広く関連事業を営み、沿線地域を発展させながら鉄道事業との相乗効果を上げるという今日の私鉄経営のビジネスモデルの原型を作ったのです。ユニークなパンフレット広告、月賦販売、乗客を増やすため宝塚歌劇団、阪急百貨店、宝塚温泉、動物園の創設。さらには、駅ビルから建売住宅、電車の中吊り広告まで……。現代では当たり前とされているあらゆるシステムを考案し、全国高校野球大会までも企画したそうです。今日の東京ディズニーランドは正にそうですし、ライフガーデン、ラザウォーク、イオンモールもそれに該当すると言えます。

100年以上前の時代に「都市型の理想郷」を発想し、数々の業績を残し社会・経済発展に寄与した小林一三ですが、

彼は、次の言葉も残しています。

「自分の持つ長所を確信することである。確固たる思想を飽くまでも維持することである。訓練式タイプ型のみには憧れず、何人も持つ自分自身の長所を顧みて、それに磨きをかける人の多からんことを切に希望する。」

「長所は誰もが持っているもの。その自分が持っている良いところに自信を持ち、その良さを発揮して自分の考えを確立する。そして、柔軟的で謙虚な心を持って、その良さの質をさらに高めていく。」……私は、この言葉をこのように理解しましたが、子どもたちへの接し方において、何よりも「できた」ことを褒める、そして、その子の持っている良さ(長所)に励ましを与えるということが大事です。子どもたちの成長には枠はありません。これからも、家庭、学校、地域社会が連携し、賞讃と励ましという同じ視点を持って見守っていきましょう。

葦崎市民交流センターふるさと偉人資料館の清水館長さんから、「ソーライス」のエピソードをお聞きしました。さて、「ソーライス」とは？。

ソーライスとは「ソース・ライス」の略で、大阪における戦前戦後に多く食べられたウスターソースを米飯にかけて食べた食べ物のことである。「ソーライ」とも呼ぶ。発祥は梅田阪急百貨店(1929年(昭和4年)開業)の大食堂である。

同食堂の人気メニューはライスカレーだった。客はカレーにウスターソースをたっぷり掛けて食べるのが常だった。ところが昭和恐慌のあおりで、ライス(5銭)のみを注文してテーブル据え付けのウスターソースを掛けて食べる客が増えて問題になった。しかし阪急社長の小林一三は彼らを歓迎する姿勢を打ち出し、「ライスだけのお客様を歓迎します」という貼り紙まで出させた。

従業員の中にはこれに疑問を持つ者も少なくなかったが、小林は「確かに彼らは今は貧乏だ。しかしやがて結婚して子どもを産む。そのときここで楽しく食事をしたことを思い出し、家族を連れてまた来てくれるだろう」と言って諭したという。こうして「ソーライス」は阪急百貨店大食堂の堂々たる「裏メニュー」となり、広く知られた。後年、関西の財界人のあいだでは「阪急食堂でよくソーライ食ったな!」というのが共通の昔話となったという。

1年生のプールが始まりました！

6月25日、1年生の歓声がプールいっぱいに響き渡りました。初めてのプールとあって、みんな興奮気味でした。でも、去年、みどり保育園との交流でプールを体験していただいたので、スムーズに水遊びを楽しむことができました。今回は、深さ50センチでしたので水の対する抵抗も少なかったようです。これからの体育の授業で水に慣れて、夏休みには、たくさんプールで泳いでもらいたいと思います。



気持ちいい～！



水の中もへっちゃら！



授業の終わりにピース

「子ども能」の練習が始まりました！

6月26日、「甲斐の国こども能」の練習がスタートしました。今回の募集で、5年生3人、4年生7人の計10人もの子どもたちが申し込みました。今回は、初めてとあって、まずは挨拶の仕方、足袋の履き方、扇子の持ち方、歩き方、回り方、声の出し方等基本となる内容を学びました。能楽師の佐久間二郎先生は、子どもたちの様子を見て、「初めてとは思えないほど上手ですね。」とおっしゃっていました。これから、高根ふれあいホールで行われる10月20日の本番まで10回の練習を重ねていきます。保護者の皆様には、時間がありましたら是非練習の様子をご覧頂き、励ましをお願いします。



まずはあいさつの仕方から。



姿勢も様になってきました。



言葉はまだちょっと難しかったね。

学校保健委員会開催！

27日、歯科校医の小林先生、市の保健師の今村先生、栄養士の仲田先生にご参加頂き、専門のお立場からお話しをして頂きました。小林先生からは、これまでの歯磨き指導によって、とても成果が上がっていることや歯磨きは脳の発達にも良いことなどを話されました。3人の先生方が言われた共通点は、歯磨きや睡眠、食生活において生活リズムを崩さないことが大事であることでした。特に夏休みは、家庭生活中心となるので生活リズムを大切にしたいとご指導を頂きました。

また、委員さんからは、溶連菌感染症やマイコプラズマ肺炎など流行性の疾病が発生した時には、保護者にお知らせをして欲しいという要望も出されました。お忙しい中、ありがとうございました。

「菜の花プロジェクト」特製「食用なたね油」はいかがですか？

昨年、子どもたちが「菜の花プロジェクト」で収穫した菜種を絞った食用なたね油です。田んぼの学校でお世話になっている山本さんの働きかけで60本ほど頂きました。貴重なものですので、保護者の皆さんには是非購入して頂きたいと思います。頂いた代金は、子どもたちが大好きな図書等読書活動に活用させて頂きます。ご協力をよろしくお願い致します。

○販売日 7月5日(金) 午後1:30～5:30の間 (授業参観日です)

○金額 400円(1本)

○児童玄関に見本を展示します。ご希望の方は職員室において下さい。職員室で代金と引き替えにお渡しします。無くなり次第終了します。